

ワークライフバランスの取れた私らしい在宅ワークのビジョン

ワークライフバランスの取れた私らしい在宅ワークのビジョン

私は妻であり小学校1年生の母親でもある専業主婦です。

家の中心でもある私が幸せに家族と過ごしなが、やりがいのある仕事をして収入を得るためには、在宅ワークをすることが1番良い選択になり、私のみならず家族の幸せにもなるのではないのでしょうか。

在宅ワーク未経験の40代の私にとって、在宅ワークの必要性とこれから進む道についてお話しします。

在宅ワークがなぜ1番良い選択なのか

在宅ワークとは、どこかへ出勤することなく自宅等で働くこと。

それは子供を育てている主婦や、身体的に外出が困難だったり家族の事情等で働きに出ることが難しい人々にとって、最高の働き方ではないのでしょうか？

また、その時々々のライフスタイルの変化によって働き方を変えていくことも可能です。

そして、無駄な人間関係等に悩むことなく、仕事に集中できるメリットもあります。

つまり、在宅ワークはワークライフバランスを取りながらも自分らしく働くことが可能となりますのです。

成長してゆく子供との時間

子どもの成長を見守り、子どもとの時間を大切にしたい方は多いのではないのでしょうか？

かく言う私も、現在小学校1年生の娘がいます。

娘は身体が小さく、発達はゆっくりで落ち着きがなく、2歳から現在も週3回の療育へ通っています。

先生もお友達も大好きで、学校へは楽しそうに通っています。

しかし、授業についていくのに必死な状態で、宿題の他に授業で終わらせることのできなかつたプリントを持って帰ってくる日々です。

また、下校時に友達と遊ぶ遊ばないのトラブルになることがあり、行動面での不安もあります。

そのため、しばらくは親のサポートが必要なことから、子供との時間が確保しやすい在宅ワークのほうが良いのです。

親の介護問題

年齢を重ねると親の年齢も上がり、生活のサポートや介護が必要になる可能性があるのは誰もが抱える問題です。

我が家の場合、親の年齢や健康状態から、恐らく10年以内には何かしらのサポートが必要になると考えています。

また、一回り年上のメタボな夫も同時介護になる可能性だってあります。

そんな時期に娘の10年後は思春期真っ只中の16歳。

大事な進学の時期であり、どんどんお金もかかる時期に、家庭の中心である私が介護だけで1日が終わる生活で疲れ果て、仕事もせず家庭もおろそかにしてはいけません。

周囲のサポートを受けながら、場所や時間の融通の利く仕事をする事で社会とつながりを持つ。

そして、収入を得ながら仕事・家庭・介護と両立が可能な在宅ワークが、介護世代にとって一番理想なのです。

職場の人間関係

組織の中で仕事をすると、人間関係で悩んだり、いわゆるブラックと呼ばれる企業で過重労働を強いられたり、職場環境が悪くストレスを抱える場合があります。

私もそんなトラブルを経験し、体調不調になったことがあります。

在宅ワークはそのようなストレスが全く無いとは言いきれませんが、仕事内容や携わる人の選択を自ら行うことが可能になります。

また、余計な人間関係で悩むことが減った分、本来のやるべき仕事に集中できるのです。

純粹に誰かをサポートしたい、必要とされる仕事をしたいと願っている私にとって、仕事や人間関係を自ら選択できる在宅ワークはまさに理想なのです。

始めはハードルを低く設定する

在宅ワークでどんな仕事を選択するか？

いきなり新しいことをしようとすると、ハードルが高過ぎて脳が拒否反応を起こし、継続できないという研究結果があるようです。

そのため、始めはハードルを極力低めに設定して行動する必要があります。

具体的には、これまで経験した仕事の中で在宅ワークでありそうな仕事を洗い出し、それを武器にクラウドソーシングサービスで一番ハードルの低いお仕事から応募してみます。

私の場合はデスクワーク経験が長いので、アンケートから始めて、データ入力、文字起こし、簡単な資料作成等にチャレンジします。

この流れでハードルをとにかく下げながら、一歩ずつ行動し成功体験を積んでいきます。

興味のあることを楽しみながら少しずつ学びを深める

在宅ワークを開始することができたら、平行して興味のあることを趣味の延長で少しずつ深めていきます。

しかし、趣味と仕事は違うと行動に移す前に諦めてしまう人も多いと思います。

私もその中の一人でした。
でもそれはやってみないと分からない。
やってから判断すればよいのです。

私がやってみたいことの一つ目はデザインをすること。
今から10年以上前、システム開発の会社に勤務していました。
その時、フロントデザインの仕事ができればと思っていた記憶が今でも忘れられないのです。
デザインの勉強はデザインの本を読んだり、良いデザインに触れる機会を増やし、心に残るデザインをデザインソフトで模写したり、デザイン力を少しずつ深めていきます。

また、写真にも興味があり、景色を見ながら構図を考えるのが好きです。
年に数回しか出番のない夫の一眼レフカメラを拝借し、撮った写真をSNSに投稿することを目標にします。

最初は仕事にしようと思わず、ただひたすら楽しむつもりで没頭できればしめたもの。
継続を力にしていきます。

SNS発信は在宅ワークの種まき

今の時代、SNSは立派な営業ツールになっています。
しかし、発信が苦手な人は多いと思います。

そんな私も文章の発信は苦手なSNSは見る専門でしたが、唯一ジョグノートというランニング用SNSだけは発信をしていました。

主に走った記録とその日の日記を書いていましたが、遠征した大会での旅を含めた備忘録が臨場感があり面白いと、友人から良い評価を頂いたことがありました。
そのSNSのサービス終了と同時に発信を辞めてしまいましたが、その時はきっと没頭して文章を作成していたはずです。
そう考えると、私に文章を作成する力があるのではないかと思えるのです。

苦手意識は意外と思い込みなのかもしれません。
それゆえ自分の思い込みを一旦取っ払い、まずは文章作成のリハビリとしてX(旧Twitter)で思いの丈を綴る。
そして慣れてきたらnoteなどで長い文章を作成し、SNSに在宅ワークの種をまいていきます。

在宅ワークは行動あるのみ

在宅ワークは様々な環境に対応でき、場所や時間にとらわれない自由な働き方です。
もちろん、簡単に収入を得ることは難しいでしょう。
なかなか仕事を受けられなかったり、クライアントからの要望にうまく応えられないことがあるかもしれません。
情報を敏感にキャッチし、流行や時代の変化に柔軟な対応を取ることも必要になると思います。

それでも、未来の幸せな生活を思い描き、学びながら一歩ずつ前へ進むことによって、新たな道が開けるはずですよ。

私も自分らしく働くために、日々楽しみながらも学びと行動は忘れずに行う。
そして、クライアントにとって痒いところに手が届くサービスを提供できるよう精進し、家族や仲間からも、クライアントからも必要とされる人になりたいと思います。